

KURASU HACHINOHE

八戸で暮らそう。



移住の
すすめ

KURASU HACHINOHE

ちようどいい 田舎が ここにある

サーフィンや釣りを

楽しんでから出勤し、

オフィス近くの

カフェでランチ。

仕事の後は

地元サッカーチームを応援し、

週末は家族で

温泉やキャンプー。

八戸市は

そんな生活を実現できる

都市と自然の調和が

取れた街です。

海、山、川に恵まれ、

仕事や買い物も便利。

「ちようどいい田舎」で

あなたにとって

「ちようどいい暮らし」を

見つけてみませんか。

INDEX

- 03 八戸のエリアのこと
- 05 気候、食文化、祭りのこと
- 07 子育て、本とアート、海と山のこと
- 09 移住のこと 01
- 11 移住のこと 02
- 13 移住のこと 03
- 15 移住支援制度のこと

八戸のエリアのしくみ

1 石堂・下長・市川

工業団地や、陸上・海上自衛隊を擁するエリア。市街地の幹線道路沿いにはファストフード店があるほか、中心街や、おいらせ町の「イオンモール下田」へのアクセスも良好。

2 尻内・長苗代・櫛引

東北新幹線が発着するJR八戸駅があり、他都市への交通至便。1年中スケートが楽しめるスポーツ施設「FLAT HACHINOHE」や、何でもそろう市場「八食センター」もこのエリア。

3 江陽・沼館・城下

「ラピア」「ピアドゥ」をはじめとする大型のショッピング施設が集まり、買い物には事欠かない。幹線道路沿いには回転寿司やハンバーグなどの飲食チェーンも立ち並ぶ。

4 根城・売市

南北朝時代に築城、2001年に復元された国史跡「根城」や、「博物館」、「八戸南部氏庭園」など歴史的なスポットがあるエリア。その一方で、中心街から近い住宅地として人気。

5 中心街

「市役所」や「公会堂」、「美術館」、「八戸ブックセンター」、「八戸ポータルミュージアムはっち」などの文化観光施設が集積する。デパートやビジネスホテル、繁華街があり、観光拠点にも◎。

6 小中野・青葉・類家

スーパーやホームセンター、飲食店、銭湯などが複数あり、中心街にもアクセスしやすい。かつて花街として栄えた小中野には、国の登録有形文化財「新むつ旅館」が残る。

7 湊・湊高台・白銀

沿岸部には、新鮮な魚介類がそろった「市営魚菜小売市場」がある。また、全国的に有名な「館鼻岸壁朝市」も。一方、住宅地の湊高台には、飲食店、医療機関などが点在している。

8 種差エリア

ウミネコが集う国の天然記念物・蕪島や、国立公園の一部である種差海岸などの景勝地があるほか、多様な海洋生物を展示する「水産科学館マリエント」などの施設がある。

9 ニュータウン・田面木

八戸ICにアクセスしやすく、車での長距離移動に便利な新興住宅地。大型書店「TSUTAYA白山台店」をはじめ、スーパー、100円ショップ、ドラッグストアなども集まる。

10 新井田・田向

再開発が進む田向には、「市民病院」や「総合保健センター」など、地域医療に関する重要な機関のほか、スーパーや飲食店が集まる。一方で新井田には、のどかな田園風景も残る。

11 是川・南郷

山側に位置する一帯。市内の遺跡で発掘された出土品が集まる「是川縄文館」は、国宝・合掌土偶を展示。豊かな自然が残る南郷には、スポーツ施設や道の駅、「ジャズの館」などがある。



area.11 是川・南郷
山の楽校



area.5 中心街
はっち

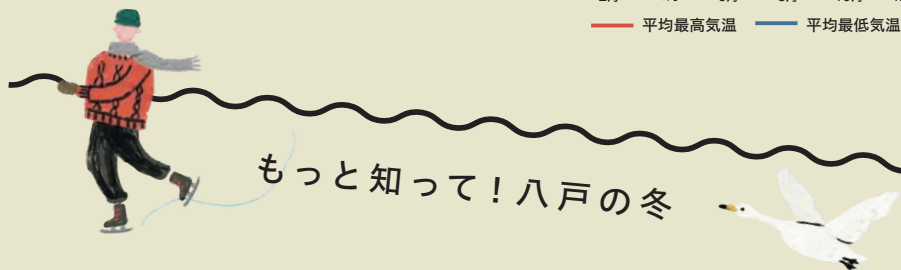
本州の最北端、青森県の東部に位置する八戸市は、人口約22万人の都市。太平洋に面し、農畜産業や商工業、流通・サービス業などの産業が集積しています。

新幹線では、八戸駅から仙台駅まで最速で1時間9分、東京駅まで2時間41分。車で約40分の三沢空港からは、東京・羽田空港、大阪・伊丹空港、札幌・丘珠空港への国内便が発着しています。八戸港からは、八戸

と苫小牧を結ぶシルバーフェリーが運行。また、自動車での所要時間は、東北縦貫道を利用して仙台まで約3時間30分、東京へは約8時間です。

海や山に囲まれています。市内の各エリア間は移動しやすく、医療や買い物などの日常生活圏がほどよく形成されています。半分都会で半分田舎のちょうどいいライフスタイルを、八戸で叶えてみませんか。

気候のいふ



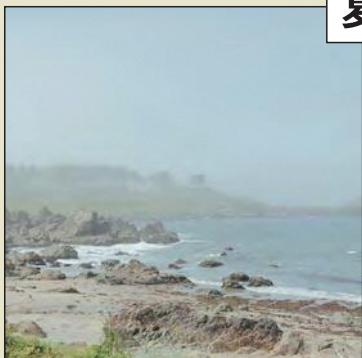
青森県内でも積雪量は比較的少ない地域。



八戸市は太平洋側気候に属していますが、夏は「やませ」と呼ばれる、海から吹く冷たく湿った風により冷涼な気候となることもあります。2022年8月の最高気温は34.4℃、平均最高気温は27.0℃でした。

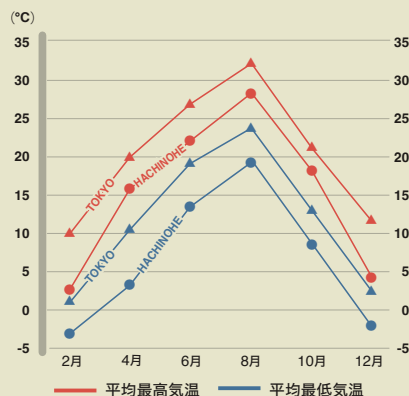
「青森県＝豪雪地帯」というイメージが強いですが、八戸市は県内でも積雪量の少ない地域。最深積雪量は、過去30年間の平均で、青森市102センチ程度、八戸市27センチ程度と、約4倍もの差があります。2021年1月には最深積雪44センチを観測しましたが、積雪40センチを超えたのは7年ぶりでした。2022年の最低気温は2月の-8.8℃、平均最低気温は-3.7℃でした。

@YAMASE



夏

八戸と東京の気温



もっと知って！八戸の冬

冬用タイヤは必須！

冬はスリップ事故に注意！車にはスタッドレスタイヤを必ず装着しましょう。運転はスピード出し過ぎず、急ブレーキ、急ハンドルを控えるのがコツです。

小学生はスケート必修！？

雪が少なく気温が低い八戸市は、昔からスケートが盛ん。氷都（ひょうと）の異名もあるほどで、多くの小学校でスケート教室が行われます。

水道管凍結に注意

住居によっては寒さで水道管が凍結し、破裂してしまうこともあります。天気予報の水道管凍結注意報をチェックし、水抜きの手順も確認しましょう。

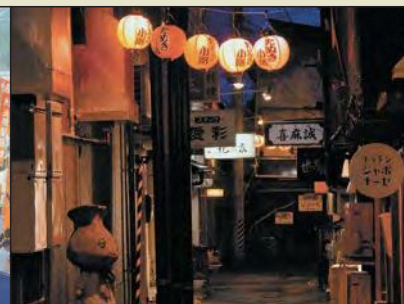
@ASAICHI



八戸の食を楽しむ
市場や朝市、横丁文化。

日本有数の水揚げ量を誇る八戸漁港を擁する八戸市では、独自の食文化が発展してきました。水揚げ量の大多数を占めるのは、イカ、サバ、イワシ。中でも一定の基準を満たしたサバは「八戸前沖さば」としてブランド認定し、県内外にPRしています。

@YOKOCHO



八戸の食文化を楽しむなら、鮮魚や肉、青果までそろう市場「八食センター」や、八戸市の食文化が凝縮している日曜朝の名物「館鼻岸壁朝市」へ。一方、中心街には戦後から発展した横丁文化があり、8つの横丁が張り巡らされています。地酒（ワイン、日本酒、ビール）や郷土料理を味わえる居酒屋から、老舗のバー、各国料理店まで、バラエティ豊かなお店が集まります。

@SANSHATAISAI



市民により継承される
夏の祭り、冬の祭り。

八戸の夏祭りといえば、約300年の歴史を持つ「八戸三社大祭」。7月31日から8月4日までの5日間、中心街をメインに開催されます。最大の見どころは、神話や歌舞伎などを題材にした山車の運行。「ヤレーヤーレ」のお囃子とともに、「引き子」

@ENBURI



と呼ばれる子どもたちが山車を引きます。冬のお祭りは「八戸えんぶり」。2月17日から20日まで開催される、豊作祈願の伝統芸能です。その技術は800年以上、口伝で継承されてきました。八戸三社大祭の山車を制作しているのも、八戸えんぶりで舞うのも、他に本業を持った市民たち。八戸のお祭りは、市民によって大切に継承されています。

食文化のいふ



祭りのいふ



子どもをのびのびと
育てられる環境。



八戸市の子育て支援は、出産前から始まります。出産・育児への不安を解消するため、八戸市総合保健センターでは妊産婦を対象にした交流会「はちまむサロン」を開催。2019年からは、国民年金第1号被保険者を対象に、出産前後

の国民年金保険料が免除される制度が開始されたほか、出産した月の翌月末まで外来医療費が無料になる制度があります。

市内には広々とした公園や広場、屋内施設があり、お子さんをのびのびと育てられる環境が整っています。

ブックスタート& マイブッククーポン

「ブックスタート」は、乳児に絵本を1冊プレゼントする取り組み。また「マイブッククーポン」として、小学生に市内書店で使用可能な2,000円分のクーポンを配布している。

DATA [ブックスタート事業] ●0178-22-0266 (図書館)
[マイブック推進事業] ●0178-43-9519 (教育委員会教育指導課)

こどもはっち (転勤ママひろば)

三日町の「八戸ポータルミュージアム はっち」内にある、育児支援機能も備えた子どもの遊び場。県外出身や転勤族のママの子育てサークルもある。

DATA ●八戸市三日町11-1はっち4F ●0178-22-5822 ●9:30 ~ 16:30 ●祝日・第二火曜・年末年始休 ●入場料100円(小学生以上)、障がい者50円

八戸公園 (こどもの国)

遊園地や動物園、植物園などを備えた公園。入場無料。遊園地は冬季閉鎖するが、テント屋根の「三八五こども館」は天候や季節に左右されず、ジャイアントスパイダーネットなどの遊具で遊ぶ。

DATA ●八戸市大字十日市字天摩33-2 ●0178-96-3409 ●9:00 ~ 16:30 ●月曜休(祝日の場合は営業、翌日休) ※施設により異なる

自分で本を選び、
所有する楽しみを。



@BOOK CENTER

“本のまち八戸”を推進し、2016年に全国初の市営書店「八戸ブックセンター」が誕生。民間書店では取り扱いにくい専門書も蔵書します。また、子どもたちにも本に親しんでもらうため、「ブックスタート」や「マイブッククーポン」の取り組みも。

文化芸術の発展を支える
アート拠点が誕生。

八戸市では文化芸術を活かしたまちづくりのため、アートプロジェクトにも力を入れています。2021年11月には「八戸市美術館」が開館し、展覧会をはじめ、イベントやワークショップなどを行い、アート活動の拠点となっていきます。



@HACHINOHE ART MUSEUM

フルーツや穀物など
農作物も見逃せない。

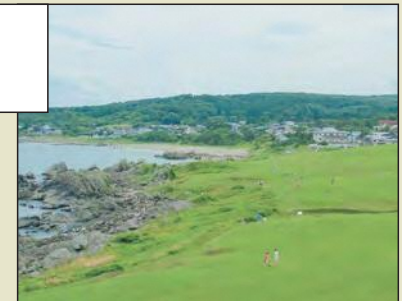


@NARAWAZU DAKE

内陸の南郷地区は農業が盛ん。寒暖差が大きい気候により、甘くて美味しいサクランボやイチゴ、ブドウなどの収穫体験ができます。耕作地帯でもあり、「南郷そば」は名産品。廃校を活用した「山の楽校」や、人工湖「青葉湖」などの見どころも。

海に面しているからこそその
景勝地がたくさん。

太平洋に面した八戸市には、海沿いに景勝地が点在します。ウミネコの繁殖地として国の天然記念物に指定されている「蕪島」や、青々とした広大な天然芝生「種差天然芝生地」、樹齢100年の松が立ち並ぶ「淀の松原」など、名所が多数。



@TANESASHI KAIGAN



地元でワイン造りを目指して

八戸市出身。同市内の高校を卒業後、関東圏の大学へ進学。その後、製薬会社へ勤務し、全国各地へ転動する。八戸市へUターン後は、妻と共に農業に従事。家族構成は妻、中学生の息子、小学生の息子。

満足度／食べ物◎／交通○／自然環境◎



転勤生活にピリオド

大学卒業後、製薬会社に勤めていた吉田宗司さん。全国転勤があり、結婚後は家族と共に引っ越しを繰り返していました。「子どもが自分の手を離れるまで、一緒に生活して成長を見守りたい」と考えていたことから、転勤生活に区切りをつけ、地元の八戸市に定住することを決めます。

「人生の大きな転換点。どうせサラリーマンを辞めるなら、思い切り自分のやりたいことにかじを切ろう」。そう考えた吉田さんは、起業することを決意します。一から物を作ることがしかなかったという吉田さんは、ワイン造りの道へ進むことにしたのです。

2019年に同市へUターン。地域おこし協力隊として活動しながら、北イタリア品種のワイン用ブドウの苗木を手に入れる準備を始めました。22年春から南郷地区で化学農業を使わないブドウ栽培をスタートし、自身のワインを造る夢に向かって農作業に励んでいます。

人とのつながりに感謝

一方で、豊崎地区では農業や化学肥料を減らした特別栽培のピーマンを育てています。青森県内のピーマン農家は高齢化が進み、手間のかかる特別栽培のピーマンを生産しているのは吉田さんだけです。

新たなことに挑戦するのは、「起業したからには、新しい価値を生み出したい」という思いから。農業を取り巻く厳しい環境の中で、移住者が農業を生業にしていく一つの道しるべになりたいと考えています。

吉田さんは、八戸での人との縁に感謝しています。「ここに至るまで、農家仲間や飲食店を経営している友人、行政の方々がたくさんサポートしてくれました」。自身と同じようにUターンした友人やパパ友、ママ友とのつながりにも恵まれています。

今秋には豊崎地区で、妻の咲子さんと共に地元野菜中心の総菜店を開店する予定です。確かな足取りで、やりたいことを形にしています。

八戸市の移住制度

働く

○ほんのり温ったかはちのへ移住企画支援事業

Uターン就職希望者に対して就職活動等に対する交通費、移住のための引っ越し費用、住宅費(家賃)、学用品等の購入費を支援しています。

のんびり過ごせる場所

八戸市出身。八戸南高校卒業後、東京都内の調理師専門学校を経て、都内の居酒屋や会席料理店に勤務。2015年に帰郷後は八戸市内の割烹料理店で働き、21年「旬花松灯 美さ季」を開業。同市内で一人暮らし。

満足度／食べ物◎／買い物○／自然環境◎



新鮮な食材がすぐ手に入る

「春はクリガニ、夏はウニ、秋はイカ、冬はヒラメやアンコウ。八戸では新鮮な食材がすぐ手に入ります」。2021年10月に八戸市六日町で和食店「旬花松灯 美さ季」を開業した同市出身の岩淵剛さんは、そう話します。岩淵さんにとっての和食の魅力は、まず味が良いこと、そして食材を通して季節を表現する面白さ。店名には「旬の食材にこだわり、季節を美しく表現する」という思いが込められています。

幼い頃から料理に興味を持っていた岩淵さんは、地元の高校から東京の調理師専門学校に進学。卒業後は都内で和食の料理人として働いていました。都会の生活は便利でしたが、その一方でせわしなさも感じ、だんだん疲れてしまったそうです。

そして「時間に追われず、のんびり過ごしたい」と考え、34歳になる15年に八戸へUターン。地元の割烹料理店で5年ほど勤めた後、独立開業しました。

開業を支えた「8サボ」

開業に向けて動き出した岩淵さんを支えたのは、「はちのへ創業・事業承継サポートセンター」（8サボ）です。8サボで岩淵さんは、開業までの道筋や書類の制作などについて学び、利用できる補助金や助成金制度を教えてもらいました。

自分の好きなように料理を作ることができると。岩淵さんは今、その喜びを感じています。新型コロナウイルス禍中での開業でしたが、客足は順調でリピート率も高いです。

岩淵さんにとって八戸の魅力は、何もないところ。「何もないから、何もなくていい。マイペースでいられるのが一番」。開業してからは仕事をする時間が長くなりましたが、それ以前はゴルフをしたり、海を眺めたり、釣りを楽しんだりしていたそうです。

「田舎は人も少ないから、ストレスも少ないですね」と笑顔を見せる岩淵さん。これからも地元の食材に誠実に向き合い、腕を振るう日々が続きます。

起業を支援する体制

働く

○はちのへ創業・事業承継サポートセンター（8サボ）

「起業・創業」「事業承継」の総合相談窓口です。事業の構想段階から、開業後のフォローまでワンストップでサポートしてくれます。

○特定創業支援等事業を受けたことによる証明書の発行

創業支援等事業者が実施する「特定創業支援事業」による支援を受けた方へ証明書を発行しています。その証明書により、登録免許税の軽減措置等が受けられます。

サッカーが結んだ八戸との縁

島根県益田市出身。2016年、当時、日本フットボールリーグ（JFL）のヴァンラーレ八戸へ入団するも大けがに見舞われた。17年春に向陵高校の教諭へ転身し、サッカー部監督に就任。部員数人からチームをつくり上げ、6年目で青森県ベスト4に導いた。

満足度／住みやすさ◎／交通機関○／自然環境◎



選手から指導者へ

向陵高校教諭の山本真也さんはサッカーが縁で八戸市に移住しました。島根県出身で、中学卒業後に親を離れ、名門の静岡学園高校、国士舘大学でプレー。卒業した2016年、ヴァンラーレ八戸に入団し、夢だったサッカー選手の道をスタートさせました。

しかし、1年目で膝の大けがに見舞われます。続けられるか悩んでいた頃、市内のサッカー関係者を通じて向陵高の体育教諭の誘いを受けました。学校の先生としてサッカーを教えるのは、山本さんのもう一つの夢だったそうです。2カ月ほど考えた末、「この機会を逃したら、次のチャンスはなかなか来ないだろう」と決意。故郷から遠く離れた北の地で、指導者として歩む覚悟を決めました。

部員は当初4、5人でしたが、熱心な指導のほか、中学校やクラブチームを訪ねてスカウトするなど地道な活動を展開。数年後には、関東圏からも特待生を受け入れるようになりました。

温かい人が魅力

「県内には圧倒的に強い青森山田がいる中で、一からの挑戦はやりがいがある」と山本さん。22年には、全国高校サッカー選手権青森県大会でベスト4へ進出。現在は、チームを全国区にするのが目標です。

さまざまな土地で生活してきた山本さんにとって、八戸の好きな点は「人が温かく、外の人を受け入れてくれるところ」。新鮮な海産物などの食や夜の街並みも魅力で、県外の人を招いた時は地元のグルメを提供する飲食店でもてなし、喜ばれているそうです。

プライベートでは八戸で出会った藍さんと結婚し、長男・閃璃君を授かりました。サッカー漬けの毎日でも、家族で公園に行ったり、外食したりするのが楽しみだそうです。「八戸は都会過ぎず田舎過ぎず、住むのにはちょうど良い。ここで家族ができたので、ほぼ永住コースかな」と山本さん。サッカーがつかないでくれた縁を大切に、仕事にもプライベートにも邁進する日々が続きます。

就職を支援するサイト

働く



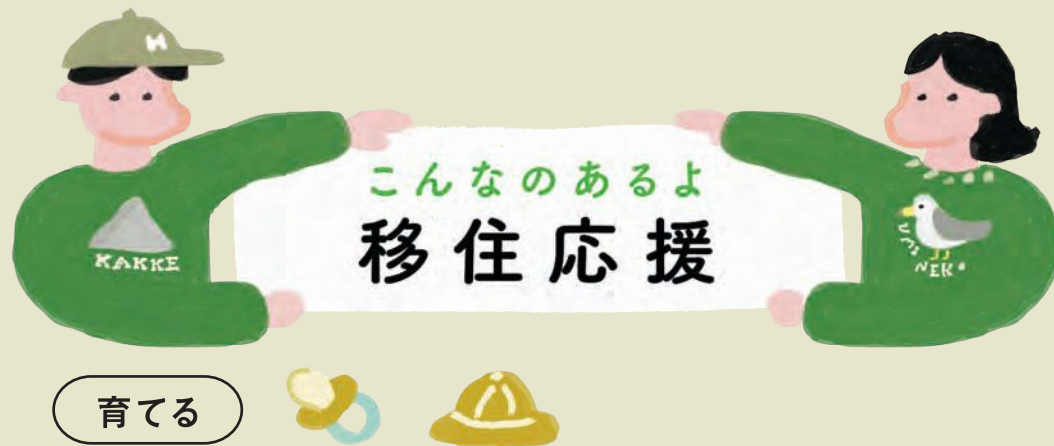
〇八戸都市圏ジョブ市場

八戸都市圏（八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町の8市町村）の求人・求職情報が検索できるウェブサイトです。



〇八戸で働こう

八戸市企業誘致促進協議会が八戸に立地している魅力ある誘致企業等を紹介しているウェブサイトです。



子育て支援制度

●保育料の軽減

認可保育所や認定こども園、認可外保育施設に入所している第3子以降の児童の保育料を軽減しています。

●子ども医療費助成

健康保険に加入しているお子さんについて、保険診療を受けた際の一部負担金を助成します。(なお、高額療養費、家族療養費附加給付金の給付を受けた場合は、その差額分を支給します)

●八戸市ブックスタート事業

赤ちゃんと保護者が絵本を通じて、ゆっくりと心触れ合うひとときを持てるよう応援する事業です。先天性股関節脱臼検診(生後90～120日に受診)の場を利用し、絵本の読み聞かせをした後、絵本1冊と図書館の利用案内、おすすめ絵本のリスト等を入れたブックスタートパックを配布しています。

教育支援制度

●マイブック推進事業

小学部に在籍する全ての児童に、市内書店で利用できる「マイブッククーポン(1人2,000円分)」を配布しています。自ら本を選び購入する体験を通して、読書に親しむ環境をつくることを目的とした事業です。

●就学援助制度

経済的な理由で小・中学校の就学費用の支払いが困難な家庭に対して、給食費や学用品費などの一部を援助しています。(私立小・中学校に在籍している場合は対象になりません)

●八戸市奨学金制度

経済的な理由により、高等学校以上の就学が困難な方に、無利子で奨学金を貸与しています。

●「八戸市未来の保育士応援奨学金」制度

指定保育士養成施設に在学する方のうち、卒業後に市内の保育所等(認可保育所または認定こども園)に保育士として勤務する意思のある方に対し、修学資金を貸与します。

●八戸市看護師等修学資金貸与制度

修学資金の貸与を受けた方が養成施設を卒業後すぐに免許を取得し、直ちに市内の医療施設等に就業し、5年以上従事した場合に全額免除します。

子育てを支える体制

●こどもはっち

子どもと大人の交流の場。育児支援機能も備えた遊び場です。木のぬくもりを感じながら、笑顔あふれる楽しい時間を過ごせます。県外出身のお母さんや、転勤などで八戸に引っ越ししてきたお母さんを対象にしたイベント「転勤ママひろば」も開催しています。

●八戸市子育て世代包括支援センター

妊娠・出産・子育ての相談窓口。妊娠期から子育て期にわたる不安・悩みに対し、保健師・助産師・栄養士が相談に応じます。八戸のママたちを応援したいという意味を込めて、『はちまむ相談』として相談室を設けています。

●放課後児童クラブ

両親が共働き等で昼間に誰もいない家庭の小学生のお子さんが、学校の授業終了後(放課後)から夕方まで過ごす場所です。小学1～6年生までが対象で、市内49カ所に開設しています。

●地域子育て支援センター

小学校入学前のお子さんとその保護者の方であれば、どなたでも利用できる施設です。地域の保育園などに開設しています。絵本の読み聞かせや親子遊び、季節の行事などのほか、子育てに関する相談や情報の提供も行っています。また、保育園の園庭開放、図書の貸し出し、子育てサークルへの支援なども行っています。

●ファミリーサポートセンター

地域の中での子育て支援と、児童福祉の向上を目的に会員制の相互援助活動を行っている組織です。子育ての援助は、八戸都市圏(八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町)内に在住または在勤の方で、生後56日以上から小学6年生までのお子さんが対象です。

●子育てサロン

孤立した子育て環境にならないように、地域の親子が気兼ねなく集まり、子育て相談や交流ができる場です。地域の公民館などで開催され、小学校入学前のお子さんとその保護者が利用できます。

●ナースリーママシステム(保育施設による子育て支援)

八戸市保育連合会による地域の子育て支援システムです。認定こども園および保育所において、子育ての相談や体験、情報提供などを行っています。お子さんが生まれる前から利用できます。

●病児・病後児保育の実施

保護者が自宅での保育が困難な場合に対応するため、病院・保育所等において病気の児童を一時的に保育しています。

子育て支援サイト

●子育てウェブサイト「はちすく」

八戸市内の保育所情報や健診情報をはじめとする各種子育て支援関連情報を集約したウェブサイトです。

●青森県親子に優しい街マップ

「親子に優しい街マップ」は、子育て支援サービス、お出掛けスポット、あおもり子育て応援わくわく店(妊婦さんや子ども連れの家族が、料金の割引等の特典やおむつ交換スペースの利用などのサービスを受けられるお店)などを検索できるウェブサイトです。



就職支援制度、体制

● 八戸市移住支援金

東京圏から八戸市内に移住し、市内事業所に新規就業した方に移住支援金を支給します。

● ほんのり温ったか八戸移住計画支援事業

U/Iターン就職の促進と各産業分野における人材不足の解消を図るため、U/Iターン就職希望者に対して移住のための引っ越し費用、住宅費(家賃)、学用品等の購入費を支援しています。(事前登録が必要)

● 八戸市無料職業紹介所

求職者への求人情報の提供、職業紹介、職業相談や求人希望する企業の求人登録、紹介などを無料で行っています。

起業・創業支援体制

● はちのへ創業・事業承継サポートセンター(8サポ)

「起業・創業」「事業承継」の総合相談窓口です。事業の構想段階から、開業後のフォローまでワンストップでサポートしてくれます。

● 「青森県・八戸市」連携融資制度

「青森県『選ばれる青森』への挑戦資金特別保証融資制度」を活用して開業する創業者は、青森県と八戸市の連携によって「信用保証料」の全額補助が受けられます。

● 八戸市創業融資利子補給事業

日本政策金融公庫が実施する創業融資を活用して開業する創業者へ利子補給を実施しています。

● 特定創業支援等事業を受けたことによる証明書の発行

創業支援等事業者が実施する「特定創業支援事業」による支援を受けた方へ証明書を発行しています。証明書により、登録免許税の軽減措置等が受けられます。

新規就業農支援

● 農業次世代人材投資事業(経営開始型)

次世代を担う農業者になることを目標とする方に対し、就農直後の経営確立を支援する資金を最長3年間交付します。

● 「農業経営者の育成に関する協定」に基づく農業経営者育成支援

八戸学院大学と締結した「農業経営者の育成に関する協定」に基づき、大学と連携を図りながら、農業経営に特化したセミナー等を開催しています。

就職、企業情報サイト



● 八戸都市圏ジョブ市場

八戸都市圏(八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町の8市町村)の求人・求職情報が検索できるウェブサイトです。



● 八戸で働こう

八戸市企業誘致促進協議会が八戸に立地している魅力ある誘致企業等を紹介しているウェブサイトです。



● 八戸企業ガイドブック

八戸地区雇用対策協議会が八戸地域に就職を希望する青森県内外の学生を対象に、企業情報を提供しているウェブサイトです。



住宅支援制度

● 若者定住促進賃貸住宅

若者の定住促進を目的として市営住宅を提供します。(住所:八戸市南郷～山陣屋)



● はちのへ空き家ずかん

空き家の利活用希望者等に対し、ワンストップで対応できるウェブサイトです。

八戸市 総合政策部広報統計課
シティプロモーション推進室

〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1番1号

電話:0178-43-2320

E-mail:iju@city.hachinohe.aomori.jp





@HACHINOHE STA.



八戸市